

マメ得知識

「ピーポー」の愛称で親しまれている水島臨海鉄道が、今年で会社設立50周年を迎えました。旅客輸送と貨物輸送を展開する西日本唯一の臨海鉄道として、市民の通勤・通学の足となり、水島臨海工業地帯の企業と全国を結んでいます。

現在、50周年記念塗装車両の運行や記念グッズの販売、記念マンホールぶたの設置など、さまざまな催しを展開中。

「ピーポー」はこれからも「明日へ続く、暮らしの鉄道」として、地域の暮らしと産業を支え、走り続けます。

旅客輸送と貨物輸送を展開する西日本唯一の臨海鉄道 水島臨海鉄道が 50 周年を迎えました！



▲50周年記念塗装車両



◀50周年記念グッズ 記念改札ばさみ



◀50周年記念マンホールぶた

歴史と文学のまち、真備
奈良時代の偉人「吉備真備公」ゆかりの地であり、作家・横溝正史が、名探偵「金田一耕助」を生み出したまち。

果物と花のまち、船穂
温暖な気候と、高梁川の豊かな水を生かし、マスカットやスイートビーなどの栽培が盛んなまち。

大原美術館
倉敷の美学家・大原孫三郎が、洋画家・児島虎次郎に託して収集した、西洋美術などを展示する日本初の私立西洋美術館。

倉敷美観地区
天領として栄えた時代の風情と美しい景観を色濃く残すまち。

国産ジーンズ発祥の地、児島
足袋・学生服・作業服と、繊維のまちとして発展し、日本で初めてジーンズを国産化しました。全国のジーンズファンからの注目を集めています。

レトロな港町、玉島
備中の玄関として栄えた港町で、今でも当時の商家や土蔵が残っています。昭和レトロな商店街など、ノスタルジックな町並み散歩も楽しめます。

水島コンビナート
瀬戸内海に臨む、約2500haの空間に、250を超える事業所が立地する水島コンビナート。美しく光る夜景は「夜景100選」にも選ばれています。

倉敷って、こんなところ。

クラシキ文華新聞

第22号発行のご挨拶



岡山県南部に位置する、倉敷市一。町家や古民家を利用した新たな観光スポットが次々と生まれている「倉敷美観地区」、日本初の私立西洋美術館である「大原美術館」、繊維産業を進化させ続けてきた「国産ジーンズ発祥の地・児島」など、歴史と伝統が常にアップデートされ、新しい文化が生み出されています。そんな、倉敷で華開く新しい文化「クラシキ文華」の魅力をお伝えする『クラシキ文華新聞』第22号をお届けします。ぜひ、ご一読ください。



全国的にも珍しい「いかご職人」がイノベーションを起こす

主に畳などに用いられ、すがすがしい香りと白緑色の素朴な風合いが魅力の「イ草」。倉敷市茶屋町周辺は、かつて日本有数のイ草の産地でした。その大きな要因となったのが、江戸時代から進められていた旧児島湾の大規模な干拓。粘土質で栄養分に富んだ干拓地で、多くの農家が塩分に強いイ草を栽培しました。全盛期となる昭和30年代後半には、全国で生産されるイ草の5割以上が岡山産で、その大半が茶屋町で生産されていたといいます。

明治時代には、茶屋町生まれの磯崎眠亀が美しく緻密な模様を織り込んだ花菱（はなむしろ）の「錦莞菱（きんかんえん）」を発明し、花菱が日本の重要輸出品へと成長。町内各地で畳表やゴザなどのイ草製品が数多く作られるようになりました。

茶屋町に工房を構える「須浪亨商店」もそのひとつ。初代・須浪儀三郎氏が畳表の製造販売を開始し、イ草の栽培から販売までを一貫して行うようになり、昭和40年代に3代目の亨さんと妻・榮さんが花菱の製造販売を始めました。そして現在は、5代目となる隆貴さんが家業を継ぎ、イ草で編んだかご「いかご」を作る全国的にも珍しい職人として、モノづくりに励んでいます。



編集後記

今回は、かつての産地で培われたイ草製品の伝統と技をつなぎ、全国的にも珍しい「いかご」を生み出す職人とその思いについて紹介しました。いかがでしたか？

倉敷市内の観光地も、ようやく少しずつ賑わいが戻ってきています。感染予防には十分注意しながら、爽やかな秋を楽しみましょう！（安藤・羽原）

クラシキ文華新聞 Vol. 22
令和2年9月吉日発行
【編集・発行】
クラシキ文華新聞編集部
(倉敷市くらしき情報発信課内)
〒710-8565
岡山県倉敷市西中新田 640
TEL086-426-3061
FAX086-426-4095
pubinfo@city.kurashiki.okayama.jp

WEBもチェック！
クラシキ文華
<https://citysales.city.kurashiki.okayama.jp/>
クラシキ文華 検索
倉敷市公式 Facebook
<https://www.facebook.com/KurashikiCity>
倉敷市公式 Instagram
https://www.instagram.com/kurashiki_city/

「今は住宅地になっていますが、昔は見渡す先まで一面のイ草畑だったそうです」。そう話しながら、工房の周辺を指さす隆貴さん。かつては日本有数のイ草の産地であった茶屋町でしたが、水島コンビナート建設の影響により、刈り入れ従事者の雇用賃金が高騰、宅地化によって地価が上昇するなどしたため、昭和40年代になるとイ草の栽培は急激に衰退し、現在ではほぼ途絶えています。しかし、地域に根差した伝統と技は受け継がれ、イ草製品は今でも作られています。

そのひとつが「いかご」です。3代目である祖母・榮さんが、畳表には使えない短いイ草をねじって縄状にした「イ縄」でかごを編んだのが、その始まりです。

4代目である父・伸介さんが跡を継ぎ、花筵といかごの2本柱で事業を展開しようとした矢先、伸介さんが急死。隆貴さんが小学6年生の時でした。亨さんはすでに引退しており、榮さんは「潮時かもしれん」と一時は考えたそうです。「でも、いかごを編むことなら私1人でもできる」。そう思い改め、いかご作りへと専念。伝統の灯を繋いだのです。



榮さんがいかご作りに専念して8年が経った頃、亨さんの体調が悪くなり、家業を続けることが厳しくなりました。「もともとモノづくりが好きで、“民藝”にも興味があった。イ草に囲まれて育ち、小さい頃はおばあちゃんがイ草を編む傍らで遊ぶのが僕の日常でした。“家業を継ぐんだ”という気負いではなく、いかごを編むことを生業にしたい、そう思ったんです」。こうして隆貴さんは20歳の時に職人を志し、イ草と向き合う日々が始まりました。

いかご作りに欠かせないのが、先代から受け継いだ織機です。繊維産業が盛んな倉敷は、織物が得意な土地柄。まずは「生地を織る」ことから、いかご作りが始まるといいます。織機に「イ縄」を掛けて、ガチャガチャと音を響かせながら丁寧に生地を織ってゆく隆貴さん。「イ草は自然素材です。いつも同じ状態ではありません。織った時に全体が均一になるよう注意を払っています」。その後、生地と生地をイ縄で縫い合わせ、持ち手をつけたら完成です。丁寧な手仕事で作られたいかごは、現在の暮らしに合うようにデザインや機能性を追求しながらバリエーション豊かに展開しています。最近ではイ草で作った鍋敷きや瓶かごも手がけるようになり、その可能性をどんどん広げています。

「元々いかごは“闇かご”とも呼ばれ、戦後の闇市で使う買い物かごとして重宝されてきたものです。当時、闇かごはどの地域にもあり、竹、籐、蔓など、その土地の素材で作られていました。茶屋町でのイ草の栽培はほぼ途絶えてしまいましたが、産地の名残をいかごを通じて伝えたい。倉敷帆布や児島のジーンズのように、“茶屋町のいかご”として地域に根付くものを作っていきたいです」。そう力強く話す隆貴さんは、今日も真摯にイ草と向き合います。



●いかご

作りたては青々として、爽やかなイ草の香りが魅力。経年とともに茶色くなり、独特の味わいへと変化。使うほどに艶が増し、手になじんでいく。



●鍋敷き

太めのイ縄をドーナツ型に編んだ鍋敷きは、どんな鍋も受け止めてくれる安定感が魅力。使わない時は壁などにかけられるよう、フックも付いている。



●瓶かご

名前の通り、瓶を持ち運ぶために作られたかご。ワインや日本酒を入れて運ぶのはもちろん、玉葱やジャガイモなどを入れて吊しても◎。



クラシキのイベント

こだわりのランチをお楽しみください！ 秋のランチいただきます スタンプラリー

倉敷市内の48店舗で、岡山県産の地元食材を使って創作したこだわりのランチを提供します。参加店舗でランチを味わって、2つ以上スタンプを集めた方には、抽選で素敵な賞品をプレゼント！

詳しくは、ホームページをご覧ください。
□期間…10月1日(木)～12月20日(日)
□場所…倉敷市内48店舗
□金額…1,500円または2,000円(税別)
□ホームページ…<http://kankou-kurashiki.jp/lunch2020/>



▲ホームページ



せんい児島瀬戸大橋まつりオンライン

繊維のまち、児島地区の恒例イベント「せんい児島瀬戸大橋まつり」は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、従来の児島ポートレース場での開催を中止します。

●代替イベント「せんい児島瀬戸大橋まつりオンライン」を開催

特設サイトから、毎年イベントでおなじみの、児島が誇る繊維製品を扱うお店のサイトへアクセスできます。10月26日(月)～11月8日(日)は「瀬戸大橋まつり SPECIAL WEEK」と題し、期間限定商品やお買い得商品を販売。また、児島地区の伝統的なものづくりや瀬戸大橋をはじめとした美しい風景を紹介する観光PR動画も掲載しています。

新型コロナウイルス感染症終息後はぜひ現地へお越しいただき、生の児島を体感してください！

□瀬戸大橋まつり SPECIAL WEEK (特別奉仕品提供期間) …10月26日(月)～11月8日(日)

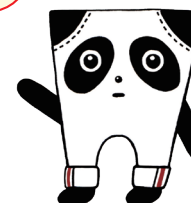
(特設サイト開設期間…10月26日(月)～令和3年1月14日(木))

□特設サイト…<https://kojima-sanpo.jp/senisai/>

オンライン開催です。
待ってるばん！



▲特設サイト



Gパンだ

クラシキのニュース

新型コロナウイルス対策取組宣言

市と、市内の商工会議所・商工会で構成する「倉敷市5商工団体コロナ対策協議会」では、市内の店舗・事業所での感染予防対策を徹底し、消費者に安心して利用してもらうため、「新型コロナウイルス対策取組宣言」を進めています。

業種別の「感染予防対策チェックシート」の項目に取り組んでいる店舗・事業所に、掲示用の「取組宣言シート」を発行し、店舗・事業所が独自の取り組みを記入して、消費者の見える場所に掲示します。また、取組宣言シートを発行された店舗・事業所は、取組宣言事業者としてホームページ <https://kurashiki-chambers.jp/> で公表しています。

安心して利用できる店舗で買い物や食事を楽しみませんか。



▲ホームページ



この表示が目印です

倉敷市の情報は、[Facebook](https://www.facebook.com/KurashikiCity) (https://www.facebook.com/KurashikiCity) でも紹介しています！